

## 令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立第一中学校）

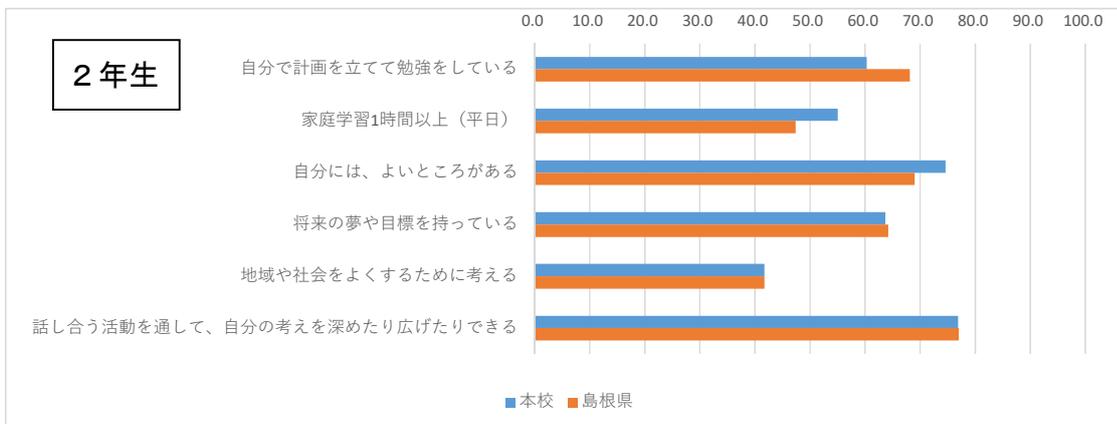
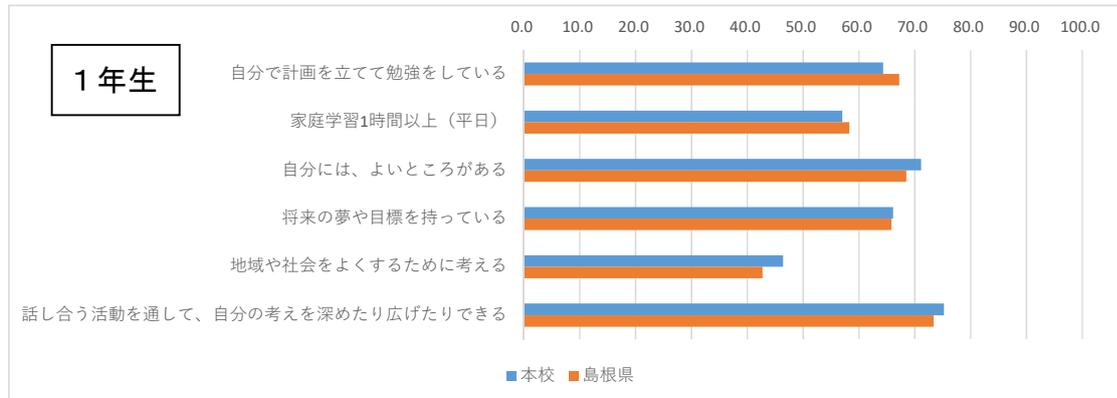
### (1) 学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

|                  |  |                  |   |
|------------------|--|------------------|---|
| 1<br>年<br>国<br>語 | ○総合力は島根県及び全国平均より3.5ポイントほど高く、特に知識・技能がポイントが高い。言葉に関する知識と漢字の読み書きの力がおおむね身に付いている。<br>●目標値と比較すると、書くことで0.6ポイント下回っている状況であり、書く力を高める手立てを講じる必要がある。 | 2<br>年<br>国<br>語 | ○全国平均とほぼ同程度でおおむね良好な状況である。<br>○漢字を読む力、説明的・文学的文章の内容を読み取る力は十分にある。<br>●一方で、漢字を書くこと、読み取ったことや知識を生かして文章を書くことを苦手とする傾向がうかがえ、今後、書く力を高めるような手立てを講じる必要がある。 |
| 1<br>年<br>数<br>学 | ○観点別にみると4.9ポイント～8.3ポイント全国平均を上回った。<br>○基礎力はおおむね身に付いている。<br>●一次関数、比例・反比例、文字式の活用問題において、立式、事象を表す式の説明等が苦手である。                               | 2<br>年<br>数<br>学 | ○総合的にみると、全国平均とほぼ同程度である。<br>○証明や1次関数の正答率が高い。<br>●式の計算は苦手、全国平均より8ポイント低い。<br>●知識・技能が3ポイントと低く、数と式の領域が低いため定期的に計算練習する必要がある。                         |
| 1<br>年<br>英<br>語 | ○総合力は島根県及び全国平均より2.5ポイントほど高く、領域別に見ると特に聞くこと、読むことで3.0ポイントほど高い。<br>●目標値と比較すると、書くことで3.7ポイント下回っている状況であり、書く力を高める手立てを講じる必要がある。                 | 2<br>年<br>英<br>語 | ○総合力、基礎力は島根県及び全国平均より1～6ポイント、活用は0.2～5ポイント高い。<br>○対話形式のリスニング、語彙、文法力がある。<br>●場面に応じた作文やまとまりのある作文を書くことが苦手である。                                      |

### (2) 生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

|        |  |        |  |
|--------|--|--------|--|
| 1<br>年 | ○基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多い。<br>○本や新聞を読んでいる生徒の割合が高い。<br>○話し合う活動を通して、自分の考えを深めている生徒が多い。<br>●地域の行事に参加している生徒が少ない。<br>●自分で、計画的に学習を進めることに課題がある。 | 2<br>年 | ○家庭学習1時間以上の生徒が半数以上いる。<br>○本や新聞を読んでいる生徒の割合が高い。<br>●自分で、計画的に学習を進めることに課題がある。<br>●地域の行事に参加している生徒が少ない。<br>●夜は、時間を決めて寝ている生徒が県平均より5%低い。 |
|--------|--|--------|--|

### (3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 283名 2年生 263名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。